認可保育所への申し込み

受け付けは 11月30日（土）～12月9日（月）

認可保育所の26年度入所の申し込みを受け付けます。

【受付日時】11月30日（土）・12月7日（土）が午前9時～午後4時、2日（月）～5日（木）が午前9時～午後5時、6日（金）・9日（月）が午前9時～午後8時。いずれの日も午前11時半～午後1時は除きます

【会場】市役所2階204会議室

【ご注意】入所の選考は先着順ではありません▼郵送での入所申し込みはできません▼既に25年度中の入所申し込みを行い、決定を待っている方で、26年4月1日以降も引き続き入所を希望する方も、受付期間中に新たに申し込んでください▼転出などで他市区町村の保育所への入所を希望する方は、各自治体で申込締め切り日や必要書類が異なりますので、ご確認ください

申し込み受け付け 終了後に出産した方

申し込み受け付け終了後の12月10日以降に出産し、保育所に入所を希望する方（ただし、入所申し込みができるのは私立保育所および公設民営保育所のみとなります）には、期間を延長して26年1月8日（水）まで保育課（市役所2階）で受け付けます。詳細は同課☎470・7745へ問い合わせてください。

申請書類の一部が市ホームページから取得できます

入所のしおりや申請書類の一部を市ホームページから取得することができますので、ご利用ください。

2次受け付け

2次受け付け［随時募集分］を、26年2月3日（月）～12日（水）に予定しています。ただし、1次選考後の欠員に伴う申し込みとなりますので、ご注意ください。

詳しくは同課管理係☎470・7745へ。

ご利用ください さいわい福祉センター

26年度通所訓練生、入浴サービス利用者を次の通り募集します。

26年度通所訓練生

◎地域活動支援センター事業（知的障害者通所訓練）

【対象】原則18歳以上で知的障害のある方

【募集人員】若干名

【利用期間】26年4月1日から最長3年間

【活動内容】日常生活の自立訓練、作業訓練など

【申し込み方法】12月2日（月）～11日（水）に、同センターに備え付けの申込用紙に記入の上、ご提出ください

◎就労移行支援事業

【対象】原則18歳以上の知的障害のある方で、企業などで就労を希望し、採用が見込まれる方（障害福祉サービスの訓練等給付の支給決定を受けた方）

【募集人員】若干名

【利用期間】訓練等給付の支給期間

【活動内容】就労に向けた訓練および支援

【申し込み方法】希望する方は、障害者自立支援法に基づく手続きが必要となりますので、同センターへご相談ください。

入浴サービス

【対象】次の①～③の全てに該当する方。①市内在住で家庭での入浴が困難な方②64歳以下の方で介護保険に該当せず、身体障害者手帳1・2級をお持ちの方③一定の医療行為が終了し症状が安定している方

【利用回数】月2回

【費用】1回600円

【申し込み方法】随時、同センターで受け付け

申し込みと詳しくは、さいわい福祉センター☎477・2711、またはファクス（477・2750）へ。

認証保育所・定期利用保育施設・家庭福祉員のご案内

これらの施設は、都と東久留米市の設置基準を満たし、安全面や衛生面に十分配慮しながら運営しています。利用を希望する方は、直接、各施設（左表参照）へ問い合わせてください。

認証保育所

大都市特有の多様な保育ニーズに柔軟に応えるため、都が独自の基準を設けて認証した保育所です。1人当たりの面積や職員配置基準などは、認可保育所の基準に準じています。

家庭福祉員

保育士などの資格を持つ保育経験の豊富な方で、自宅などの一部で3歳未満のお子さんをお預かりしています。家庭的な雰囲気の中で、スキンシップを大切にし、散歩や外遊びにも出掛けて、伸び伸びと保育をしています。

定期利用保育施設

都と東久留米市の基準を満たす小規模な保育施設で、柔軟できめ細やかな保育を特徴としています。また、子どもたち一人ひとりの個性を大切にしながら、集団生活のルールも身に付けられるように心掛けています。

認証保育所・定期利用保育施設・家庭福祉員一覧

	名称・氏名（所在地・住所）	電話番号	定員
認証保育所	東久留米プチ・クレイシュ「A型」（東本町15－2）	475・0770	30人
	つくし共同保育園「B型」（東本町8－10）	475・3353	18人
	なかよし保育園「A型」（神宝町1－17－12）	472・2872	22人
	ぽけっとランド南沢「A型」（南沢5－17－62）	451・7138	40人
定期	たんぽぽ保育園（金山町2－10－20）	471・7402	12人
家庭福祉員	浜名紹代（学園町一丁目）	423・7140	5人
	佐々木真弓（浅間町三丁目）	080・3127・5932	5人
	金澤羊子（南町三丁目）	475・1079	2人
	遠藤唯（柳窪四丁目）	448・0766	5人
	和田優子（浅間町一丁目）（共同実施）	423・1805	5人
	横田美喜		5人
	白井伸枝（東本町）	449・1296	5人

※保育対象年齢＝認証保育所A型は0歳～就学前、認証保育所B型・定期利用保育施設・家庭福祉員は0歳～2歳（年度当初年齢）。

「体験農園」の利用者を募集します

体験農園とは、農家が自ら開設し、市民に継続した農業体験を提供する体験型の農園のことです。農具、種・苗、肥料など、耕作に必要なものは園主が用意します。

未経験の方でも農作業の指導を直接受けながら、多品目栽培を体験し、収穫物を受け取ることができます。

【応募資格】原則として市内に在住し、野菜の栽培に熱意のある方

【農園名】グリーンファーム東久留米

【農園所在地】南町3ノ7

【耕作料】1区画当たり年4万3000円（別途消費税がかかります）。農具、肥料、種・苗など、耕作に必要な物の費用を含む

【募集区画数】29区画

【区画面積】1区画30平方メートル

【利用期間】26年4月1日～28年2月29日（毎年3月は畑を整備する期間のため、利用できません）

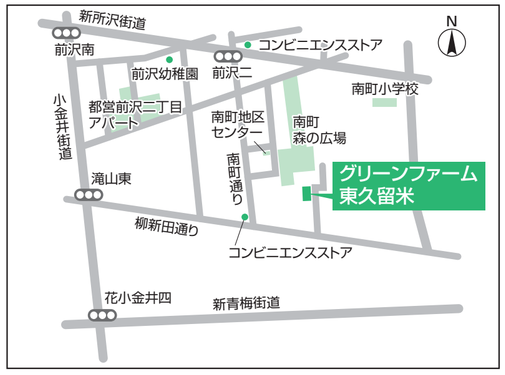
【体験農園説明会】申し込みに先立ち体験農園の利用希望者への説明会を開催します。11月30日（土）午前10時から、市役所7階701会議室で

【ご注意】応募は1世帯に付き1区画です。同農園は駐車場がありませんので、徒歩または自転車の利用を前提に応募してください

申し込みは12月2日（月）～12日（木）に（必着）、必要事項を記入した申し込書（11月25日（月）から産業振興課（市役所6階）で配布）と、はがき1枚（申込者の住所・氏名を記入）を添えて、〒203－8555、市役所産業振興課宛て郵送、または直接持参してください。応募者多数の場合は抽選します。

詳しくは同課農政係☎470・7743へ。

「体験農園」案内図



ご存じですか「ごみ減量化・資源化協力店」

市では、市民の皆さんから空き缶やペットボトル・食品トレー・牛乳パックなどの資源物を店頭で回収することや、レジ袋などの削減を目的とする「マイバック」「簡易包装」を推奨する取り組みなど、店舗独自の工夫により、ごみの減量・発生の抑制に、ご協力頂いているスーパーマーケットや商店を、「ごみ減量化・資源化協力店」として認定し、広く奨励する制度を設けています。

この制度は、各家庭の資源回収の拠点として、また環境対策のPR窓口としてご協力頂き、市民、行政・事業者が共同して3R（リデュース［排出抑制］、リユース［再利用］、リサイクル［再生利用］）による、ごみの減量と環境保護を目的とした循環型社会の形成に向けて行動するものです。

次の内容に、ご協力頂けるスーパーマーケットや商店などは、「ごみ減量化・資源化協力店」として指定しますので、ごみ対策課へご連絡ください。

▼市民の資源回収の拠点として、資源物の回収・選別・保管・資源化への協力

▼簡易包装の推進、買い物袋持参の奨励

▼プラスチックなどの使い捨て容器・製品などの使用抑制、回収・再生利用の推進

▼リサイクル可能な商品の販売促進や再生商品の利用推進

▼消費者に、ごみ減量・資源の節約・環境保全などの呼び掛け、啓発活動の実施など、市が定める13の「ごみ減量化・資源化推進項目」のいずれかを実施する店舗

現在、左表のスーパーマーケットや商店が指定されています。

詳しくは同課☎473・2117へ。

東久留米市 ごみ減量化 資源化 協力店

協力店にはこのようなプレートが表示されています

「東久留米市ごみ減量化・資源化協力店」

25年10月20日現在

商店名	簡易包装	買い物袋持参奨励	使い捨て容器の使用抑制	製品販売	詰め替え	リサイクル可能商品販売	紙パック回収	トレー回収	その他
イトーヨーカドー東久留米店	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ザ・プライス滝山店	○	○	○	○	○	○	○	○	○
西友ストアー東久留米店	○	○	○	○	○	○	○	○	○
マルエツ東久留米店	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ととや　小島商店	○	○			○	○	○	○	○
とまとや	○	○			○	○	○	○	○
スーパーヤマザキ滝山店	○	○			○	○	○	○	○
スーパーヤマザキ東久留米東口店	○	○	○		○	○	○	○	○
スーパーヤマザキ東久留米西口店	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スーパーヤマザキ西久留米店	○	○			○	○	○	○	○
マルフジ東久留米店	○	○			○	○	○	○	○
スーパーオザム下里店	○	○			○	○	○	○	○
イオン東久留米店	○	○	○	○	○	○	○	○	○
イオンモール東久留米									○
クリエイトS・D東久留米前沢店		○							○
クリエイトS・D東久留米柳窪店		○							○
サミットストアクルネ店	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ビッグ・エー東久留米南沢店	○	○			○				○
ビッグ・エー東久留米下里店	○	○			○				○
マツモトキヨシ東久留米西口店									○

※「その他」の項目は、物流過程および事業者内部による啓発活動などの取り組みです。

～ストップ温暖化に向けて～ 市民環境会議くらし部会推進員の募集

市の環境基本計画の推進組織として活動する市民環境会議くらし部会では、「エコキッズプラン」と「家庭の省エネ」の活動を援護していただける推進員を募集します。

▼エコキッズプラン＝「フードマイレージと地産地消」と題し小・中学生を主体に、旬の食材を使い、食の面から地球環境を学ぶ取り組み（イベント当日は調理と試食、食べた食材をもとにフードマイレージの地図を作成）

▼家庭の省エネ＝家庭で使う電気・ガス・水道の使用量を集計・削減していく、エコ活動

【対象者】市内在住、在勤、在学の方

【活動日】主として月1回程度、イベント開催時ほか

申し込みは12月13日（金）までに（必着、任意の用紙に、住所・氏名（ふりがな）・電話番号・電子メールアドレス（お持ちの方のみ）を記入の上、次のいずれかの方法で申し込みください。

①環境政策課（市役所5階）へ直接持参②電子メール（kankyoseisaku@city.higashikurume.lg.jp）で送付③ファクス（470・7809）で送付。

詳しくは同課☎470・7753へ。

野外焼却は原則的に禁止されています

一般廃棄物（家庭ごみなど）を法令などにより認められた焼却設備を使用しないで焼却すること、例えばドラム缶や一斗缶、ブロックや鉄板の囲いでの焼却は禁止されています。また、産業廃棄物は法令などで処理方法が定められていて、野外焼却が禁止となっています。

野外焼却の例外

一般廃棄物の野外焼却の禁止については、次のような例外事項があります。ただし、これらの例外事項の場合であっても、できる限り周辺の生活環境に配慮する必要があります。

▼伝統的行事、風俗慣習的行事のための焼却行為＝「お焚き上げ」、「お祭り」など

▼学校教育および社会教育活動上必要な焼却行為＝「キャンプファイア」など

▼市長が特にやむを得ないと認める焼却行為＝「災害時の応急対策」、「樹木や農作物の病害虫の防除など農業を営む上で行わざるを得ないもの」など

野外焼却しないために

周辺の生活環境への影響を最小限に抑えるため、次のような方法が推奨されています。

①自宅の落ち葉や剪定枝は敷地がある場合には埋め戻す

②燃やせるごみとして小出しに出す（落ち葉や剪定枝は電話予約により、ごみ対策課で回収します。ごみの出し方については同課☎473・2117へ）

また、例外事項に該当する場合でも、周辺からの通報や苦情が発生した場合、現場での指導の対象になります。

やむを得ず焼却禁止の例外行為を行う場合は、次の事項を順守してください。

①枝木や落ち葉はよく乾燥させる

②量は必要最低限にする

③時間は極力短くする

④天候、風向き、時間帯を考慮する

関係法令など

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」

「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」

詳しくは環境政策課☎470・7753へ。

住宅支援制度による住宅支援給付のご案内

住宅支援制度は、離職者であり、就労意欲や能力のある方のうち、住宅を喪失している方、または喪失のおそれのある方に対して、住宅支援給付を支給することにより、住宅や就労機会の確保に向けた支援を行うものです。

支給対象は、支給申請時に、次の①～⑧の全てに該当する方です。

①離職後2年以内で、65歳未満②離職前は主として世帯の生計を維持していた③就労能力と常用就職の意欲があり、公共職業安定所への求職の申し込みを行っている④住宅を喪失または失うおそれがある（賃貸住宅などの入居者）⑤原則として収入がない（臨時的収入がある場合は基準により）⑥生計を一とする同居の親族の預貯金の合計が、単身世帯は50万円以下、複数世帯は100万円以下である⑦国の住居喪失離職者などに対する雇用政策による貸し付けや給付（求職者支援訓練・受講給付金など）、地方自治体などが実施する類似の貸し付けや給付などを受けていない⑧暴力団員による不当な行為の防止等に規定する暴力団員でない

※他にも要件があります。

【支給額】支給額の上限月額は、単身世帯が5万3700円、複数世帯が6万9800円

【支給期間】3カ月間

詳しくは福祉総務課☎470・7741へ。

市民伝言板

会員募集

◆東久留米市ラジオ体操連盟　毎月午前6時10分～7時、小山・本村の各小学校、ひばりが丘団地南公園などラカ所で、会費年1200円。初心者歓迎。正しいラジオ体操、練功十八法を身に付け健康維持。詳しくは對馬☎471・5742へ。

◆くるめ水墨画　第1・第3木曜午前10時～正午、中央町地区センターで。会費月2000円。日本水墨画協会員講師による指導。初心者歓迎。詳しくは朝倉☎471・0334へ。

◆フラダンス（アアモキハナ）　月3回。木曜日午前10時～11時半、生涯学習センターで。会費月4000円。11月28日（木）はシニア無料体験。詳しくは小林☎090・2667・7106へ。

◆懐かしの歌とお喋りの会　第3水曜日午後2時～4時、都営大門町二丁目アパート集会所で。会費月200円。アコーディオンに合わせて懐かしの歌を歌い、心を開いてお喋りしましょう。詳しくは一政☎080・2047・0382へ。

◆茶道（松和会）　月2回。土曜日午後1時～5時、南部地域センターで。会費月2500円。初心者歓迎。見学可。「おもてなしの心」を学んでみませんか。詳しくは尾田☎472・2349へ。

催し

◆ラムシカ・サプローサ！第9回アニバーサリーコンサート　11月30日（土）午後7時開演（6時45分開場）。コール田無（西東京市田無町三丁目）で。入場料無料。多摩・都民養成講座で誕生したラテン風ビッグバンドコンサートです。詳しくは武部☎476・4886へ。

◆第6回写真展　バード・フォト・クラブ　11月26日（火）～12月2日（月）午前10時～午後5時。生涯学習センター1階ロビーで。入場料無料。詳しくは木津☎475・5231へ。

◆クワレレを楽しむ講習会（ホノルル　ウクレレ　ワイキキ　クラブ）　11月28日（木）午後1時半から、生涯学習センター音楽室で。参加費無料。初心者、ウクレレ持参（無い方には順番で貸与）。詳しくは後藤☎000・2628・9644へ。

その他

◆イルミネーションの点灯の二案内（NPO法人東久留米フラワーネットワーク）　点灯日時は11月17日（日）～26年1月18日（土）の午後4時半～午前0時。東久留米駅西口ロータリーハナミズキ周辺。今年で9年目になります。ぜひご覧ください。詳しくは佐藤☎471・2607へ。

◆25年度来梅の里唄演奏会（来梅の里唄愛好意）　12月1日（日）午前10時から、生涯学習センターホールで。入場無料。浄財箱を設置します。詳しくは中串☎090・4557・1212へ。

◆ふらっとカフェ（NPO法人緩和ケアサポートグループ）　12月7日（土）午後1時～3時、東久留米十字訪問看護ステーション（本町一丁目）で。参加費無料。高齢・がん療養・ケアについて気軽に語り合う場です。詳しくは河合☎420・4008へ。

◆映画「約束」上映会（国民救援会東久留米）　11月22日（金）午後6時から、生涯学習センターホールで。入場料1000円。障害者・18歳未満の方は800円。国民救援会東久留米結成記念。詳しくは方城☎080・3406・8501へ。

◆バザー（ボイスカウト東久留米第一団）　11月24日（日）午前10時半～午後2時頃。市役所1階屋外ひろばで。入場料無料。出し物・ゲーム・焼き鳥・豚汁・おでん・飲み物など。詳しくは相木☎473・8805へ。

◆まろにえ出会いの集い（永曜会）　12月1日（日）午後1時～3時、生涯学習センター集会学習室4で。参加費500円。毎月第1日曜日に開催。60歳以上の方。良き友と出会って、お茶を飲みながら情報交換などをしませんか。詳しくは本田☎475・3069（夜間）へ。

◆バクさんと歌おう・歌声喫茶（サロンつくり実行委員会）　12月1日（日）午後2時～4時、西部地域センター3階ホールで。参加費600円。60歳以上。定員先着80人。詳しくは乾☎080・1210・5286へ。

◆バザー（ちゅうおう保育園父母会）　12月1日（日）午前10時～午後1時。ちゅうおう保育園園庭で。入場料無料。雨天決行。縮小開催の場合あり。詳しくは橋☎472・7870へ。

ご協力ありがとうございました

スポーツ祭東京2013（第68回国民体育大会）

シリーズ㉖

スポーツ祭東京2013（以下、スポーツ祭）のシリーズ最終回となる今回は、去る10月4日～6日に行われた「第68回国民体育大会山岳競技会」の報告です。

2020年東京オリンピック開催決定の余韻が冷めやらぬうちの開催となった今回の国体。天候の安定しない中、山岳競技会には3日間で約8000人の方に来場いただき、シャトルバスは満員で増便するほどの盛況でした。

同競技を初めて観戦する方も多く、初めは戸惑いながら見ていた方も「がんばれ！」と声援を送ったり、残念ながら落下してしまったときには「惜しい」とため息をついたり、次第に夢中になっている様子で、完登した選手には盛んな拍手が送られていました。多くの方から「想像以上に面白い」「興奮した」などの感想も頂きました。最終日の会場は、立ち見続出の盛況で熱気にあふれ、東京チームの奮闘には、より大きな声援が送られました。

おもてなし広場では、5日の「柳久保うどん」、6日の「揚げパン」のふるまい料理に長蛇の列ができ、用意した300食は予定よりも早く終了となりました。8つの売店は大きな声で呼び込むなど、競技会の盛り上げに大きく貢献していただきました。

大会会長トロフィーを掲げる東京都と埼玉県の選手

競技会を支えていただいたボランティアの皆さんは、「ぜひオリンピックでも、ボランティアとして参加したい」と、高い意識で取り組んでいました。

また、小・中学校や老人クラブの皆さんなどに、ご協力いただいた「花いっぱい運動」の花や応援のぼり、商工会女性部のつるし雛は、会場を華やかにするとともに、選手をはじめとする全国からのお客さんにも好評でした。記念写真を撮ったり、インターネットで紹介してくれた方もいました。

今までにない大きなイベントを、多くの方のご理解とご協力を頂きながら、無事に閉会を迎えることができました。東京チームが、山岳競技としては初めての天皇杯、皇后杯を獲得（天皇杯は埼玉県と同率）し、大きな感動を与えてくれました。

同シリーズは25回、約2年間にわたり続けてまいりました。ご愛読いただき、ありがとうございました。

（スポーツ祭東京2013東久留米市実行委員会事務局）